

報告者：徳堂（就労支援室）

令和7年度 第1回台東区障害者地域自立支援協議会（就労部会）報告

1 開催日

毎月第3水曜日 17:00～18:30

1/15、2/19、3/19、4/16 計4回（リモート3回、対面1回開催）

2 検討した内容

（1）令和6年度検討テーマについて

「就労支援ガイドブック」の見直しを行い、完成版を台東区のホームページに掲載した。

今後は「台東区障害者支援アプリ ささえーる」との連携を通じて、より幅広い地域の方々にご理解いただけるようになると良いと考えている。

（2）令和6年度講演会について

令和7年2月28日（金）、東京大学先端科学技術研究センター教授の近藤武夫氏をお迎えし、「超短時間雇用の取り組みについて」の講演を行った。

当日は就労部会員に加え、自立支援協議会の他部会員や関係機関等、多数の参加があり、講演内容も好評であった。

（3）令和7年度検討テーマについて

就労部会の開催目的は、各事業所で抱えている課題の内、事業所で解決できない課題を抽出し、「地域課題」として集約し、自立支援協議会にあげることである。

そのことを踏まえた上で、事例検討の内容を困難事例だけでなく、好事例や事業所で抱える悩み等を検討していくこと。その事例から、共通の課題等について深掘しながら話し合い、解決策を一緒に考えていくこととした。

就労選択支援事業については、台東区障害者就労支援室で主催する「意見交換会」にて、モデル事業で実施されている就労支援機関の方を講師に招き、実践的な取組内容について講演予定。関係機関との連携や今後の方向性を探る機会としていく。

（4）勉強会

◆2月 事例検討（就労移行支援事業ありがとう）

40代 女性 鬱・パニック障害

<課題>

- ・両親と長男はすでに他界し、次男とは兄弟仲が非常に悪い中、今後の生活面を考えるには、どのようにすれば良いのか。

- ・次の就労時に対人コミュニケーションにおいて問題が出た場合、どのようにすれば良いのか。
- ・障害者雇用に関して甘い考えがある。

<部会員からの意見>

- ・主治医の見立てや意見はどうなのか。
- ・訪問看護等の精神に特化した方がいるとよいのではないか。
- ・支援者が家族とは話せているのか。
- ・同じようなケースとして、利用者からの要求に対して、職員によって異なる回答をしないこと。また、毅然とした態度で伝え、否定をしないことを情報共有している。それでも難しい場合は計画相談（第三者）に相談し、アドバイスをいただいている。
- ・保健師と関わるのはどうか。計画相談の方との相性はどうか。相性によっては変更してみてもどうか。

◆ 3月 事例検討 （就労支援室）

40代 女性 躁鬱病

<課 題>

- ・契約上の勤務時間と実際の勤務状況に乖離がある。
- ・本人が現状を受け入れられるような支援が必要。
- ・状況改善に向けた取り組みの検討が必要。
- ・社会資源の活用も視野に入れる必要がある。

<部会員からの意見>

- ・本人がダイアリーの振り返りはしていないのか、一週間前と今日の自分の比較をしていないのか。当事業所では、認知行動療法的な形で、毎日、日記を書いてもらい、確認し、過去と今日の自分は何が違うのか比較、どこを改善していくかを聞くなどの支援をしている。
- ・生活費等を気にしている場合は、年金を取得していなければ年金申請をする。また、場合によっては特別障害者手当もある。様々な選択肢を出して、自分で考えて見直しをしてもらうのはどうか。

3 今後のスケジュール

- ・令和7年度の検討テーマ「拡大版事例検討会」の実施
- ・企業見学会について検討
- ・講演会について検討